

中継施設の整備をすすめています

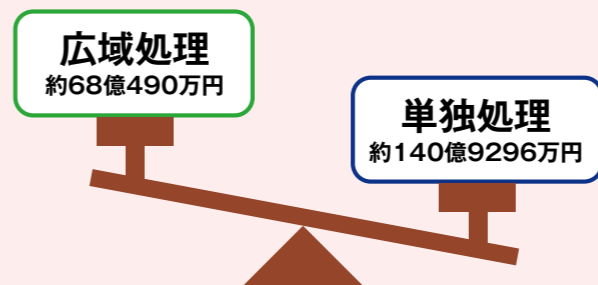
現在播磨町では、新島にある播磨町塵芥処理センターで、ごみ処理を行っています。しかし、施設の老朽化に伴い、今後の処理施設を準備する必要に迫られています。

将来、播磨町のごみ処理をどうするのか

播磨町が単独で
処理施設を運営する？
2市2町の広域で
処理施設を運営する？

播磨町単独で処理施設を運営する場合と、広域（加古川市、高砂市、稲美町、播磨町）で1つの処理センターを運営する場合で、20年の経済性を比較してみました。下の表に示したとおり、単独処理では20年で約140億9千万円が必要となり、広域処理の約68億490万円を大きく上回ります。

このことから、播磨町は2市2町でつくる広域処理施設で、将来の播磨町のごみを処理する方法を選択しました。



広域処理と単独処理の経済比較

	広域処理 (20年でかかる概算費用)	単独処理 (20年でかかる概算費用) 平成30年度時点での試算
設備整備費	約24億9820万円 (A)	約36億 円 (a)
維持管理費	約23億7340万円 (B)	約89億5500万円 (b)
収集運搬費	約19億3330万円 (C)	約15億3800万円 (c)
計	約68億 490万円	約140億9300万円

【費用の内訳など】

- (A) 広域処理施設整備費等に係る負担見込額：約1,760,000,000円（※1）
ごみ処理中継施設建設費等：約 738,200,000円
（※1）負担見込額は、施設建設費を2市2町（加古川市・高砂市・稲美町・播磨町）の人口などの割合に応じて算出した額です。
- (a) 処理センターの長寿命化に基づく基幹改良工事費
※近年の事例（約20,000千円/t）に基づき工事費を積算しました。
なお、この単価は10年稼働が基本ベースです。
90t/日×20,000千円/t×2回=3,600,000千円/20年
- (B) 広域処理施設の維持管理費の負担見込額：約1,230,000,000円（※2）
ごみ処理中継施設維持管理費見込額：約1,143,400,000円
（※2）負担見込額は、2市2町（加古川市・高砂市・稲美町・播磨町）から排出されるごみの見込量に応じて算出した額です。
- (b) 処理センターの年間維持管理費
447,749千円/年（H29年度実績）×20年=8,954,980千円/20年
- (C) 広域処理に伴う収集運搬費見込額：1,933,300,000円
- (c) 現在の年間収集運搬費（収集車両を2回更新すると想定）
74,499千円/年（H29年度実績）×20年+6,000千円/台×4台×2
=1,537,980千円/20年

▼問合せ すこやか環境グループ ☎079 (435) 2721

広域処理施設をつくるほうが、播磨町単独で処理施設を維持するより財政負担が少ないことは、わかります。でも、中継施設をつくるのはなぜですか？

中継施設をつくる理由も含め、中継施設をつくる場合とつくらない場合との違いをみてみましょう。



広域処理施設で播磨町から出されるごみを処理するときに問題となること

広域処理施設は、現在の高砂市美化センター（高砂市梅井6丁目1-1）に建設されます。処理施設まで距離があるため、町内で処理していたこれまでと異なり、住民サービスの低下を招く恐れがあります。

そこで、町内（塵芥処理センター跡地）に、中継施設を建設することを計画し、試算をしました。

費用・運用面での違い（費用は20年間で試算）

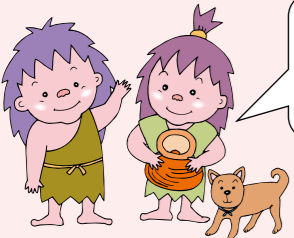
	中継施設をつくる場合	中継施設をつくらない場合
ごみ収集車台数	5台	10台
収集作業員数	12人	22人
施設維持管理費	18億8,160万円	3億6,200万円
収集・運搬費	19億3,330万円	38億3,220万円
合計	38億1,490万円	41億9,420万円

中継施設をつくらない場合、町内で収集したごみを直接高砂市の広域処理施設に運搬します。午前中にすべてのごみステーションの収集を終えるためには今より多くの車両が必要となり、その分人件費もかかります。それに対し中継施設があった場合は、運搬距離が短く同じ収集車が複数回往復することができます。このため、少ない車両と少ない人件費で処理することができます。また、走行する距離が少ないため燃料費も少なくてすみます。

中継施設をつくる方が20年間でかかる費用の見込みは低く抑えられ、サービスについても大きなメリットがあります。



中継施設があるとないとで、住民の生活にどう影響するのか、次のページで比較しています。



性能発注での公募型プロポーザル方式による施工業者の選定

中継施設を建設する施工業者の選定について町では、町内から排出されるごみの受入を適正に行うこと、高砂市の処理施設へ計画的に運搬することなど、価格以外にも技術力を含めた提案を業者から募りました。その提案内容を外部の専門家も交えた審査委員会で総合的に判断する性能発注での公募型プロポーザル方式により業者を選定しました。

ごみ中継施設の建設費は、約7億5千万円

施設建設費には、稼働後に必要となるコンテナ専用車両の購入費や建設工事における管理委託料も含まれています。
内訳
ごみ中継施設建設工事費 6億7千870万円
コンテナ専用車両購入費 5千942万円
建設工事における監理委託料 1千756万円

令和2年度の保険料額

①均等割額 51,371円
+
②所得割額 (令和元年中(1~12月)の 総所得金額等ー基礎控除額33万円)× 所得割率10.49%
①+② 保険料額(年額) (賦課限度額64万円)

**1 令和2年度の保険料額
決定通知書を送付します
(7月中旬)**

保険料の計算方法

後期高齢者医療制度の保険料は、被保険者一人ひとりにお支払いいただきます。

後期高齢者医療制度の保険料(年額)を決める基準である保険料率(均等割額と所得割率)は2年ごとに見直し、令和2年度の保険料額は左図のとおりです。

2 7月中旬頃に新しい被保険者証を送付します

被保険者証

被保険者証の更新時期は毎年8月1日です。7月中旬頃に新しい被保険者証を送付しますので、8月1日から新しい被保険者証を医療機関などの窓口で提示してください。保険料の納付状況によっては、有効期間が短い被保険者証(短期被保険者証)を送付することがあります。納付が困難な事情がある場合は早めに相談してください。また、有効期限の切れた被保険者証は細かく切るな

保険料の納付方法が選択できます

申請により納付方法を年金天引きから口座振替へ変更できます。変更を希望する場合は、口座振替依頼書と変更申出書を提出してください。

※口座振替の開始は、申し込みから2カ月後の納期分からです。

▼申請場所 納付通知書、通帳、通帳印を持参のうえ保険年金グループへ申請をお願いします。

保険料の減免制度があります

災害などにより保険料を減免する必要があると認められる場合は、申請により保険料を減免します。

医療費の負担割合を見直します

令和元年中の所得などにより、医療費の負担割合を見直します。

※被保険者と70歳以上の同一世帯により判定します。

負担額減額制度があります

①②いずれかの条件に当てはまる人は、医療費と入院時の食事代などが適用区分に応じた限度額までの支払いで済む制度があります。なお、この制度を受けるには、事前の申請が必要です。

①限度額適用・標準負担額減額認定証 世帯全員が町民税非課税である人。

②限度額適用認定証 住民税課税所得145万円以上690万円未満の後期高齢者医療の被保険者がいる世帯の人。

※①②は医療機関窓口で被保険者証とともに提示してください。

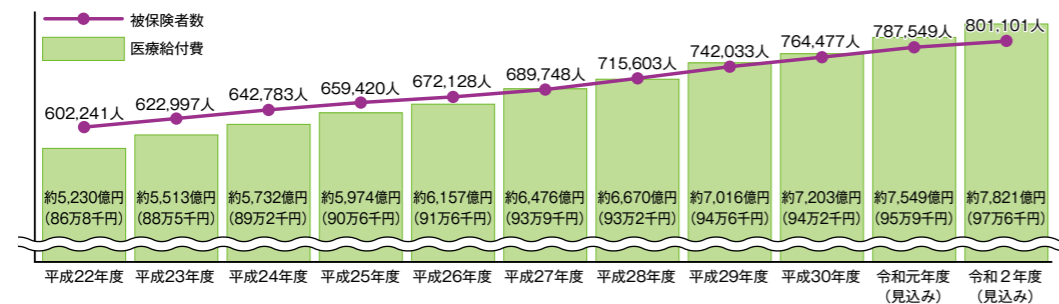
※入院時の食事代などが減額になるのは①の交付を受けた人のみです。

※現在、①②の認定証を持っていて、8月1日以降も引き続き該当する人は、申請の必要はありません。新しい認定証を被保険者証と併せて送付します。

3 兵庫県後期高齢者医療広域連合の被保険者数及び医療給付費の推移について

◎医療給付費は、年々上昇の一途をたどっています。

◎医療給付費の約1割を高齢者の保険料で賄う仕組みとなっています。



※被保険者数は年度の平均値
※()は一人当たりの医療給付費
※令和元・令和2年度は令和2年度予算時の見込み

後期高齢者医療制度

▼問合せ

保険年金グループ ☎079(435)2581
兵庫県後期高齢者医療広域連合事務局(コールセンター) ☎078(326)2021

☎079(435)2721

中継施設をつくる場合

中継施設をつくらない場合

ごみステーションの収集時の違い	町内のごみステーションを回る収集車が満杯になった場合、新島にある中継施設にいったんごみを下ろし、再び町内のごみステーションを回ることができます。収集後の搬入先が近いため、渋滞の心配もなく、出されるごみの量が多くなったとしても柔軟に対応でき、1回の収集が短時間で可能となります。 住民サービスはこれまで通りです。	町内のごみステーションを回る収集車が満杯になった場合、高砂市にある広域処理施設にいったん収集したごみを運び入れ、ごみを下ろした後、再び播磨町内のステーションを回ることになります。結果、処理施設までの距離が長いので、1回の収集運搬時間が多くかかります。また、渋滞や事故が発生すると、収集時間に大幅な遅延が発生することになり、ごみステーションにごみが残っている時間が今までより長くなるのが懸念されます。
施設への持ち込み時の違い	播磨町塵芥処理センター内に中継施設をつくるので、これまでとおなじ場所にごみの持ち込みができます。 料金はこれまでと同じで無料です。	住民の皆さんには、高砂市の広域処理施設までごみを持ち込んでいただき、手数料を立替払いしてもらわなければならないが、手間がかかります。
交通に与える影響について	中継施設でごみを圧縮してから大型の運搬車両に積み替えをするため、播磨町と高砂市を往復する収集車の数は最小限にでき、搬入時間を調整することも可能となります。 町内を走り回るパッカー車の台数はこれまでと同じです。	高砂市の広域処理施設へ直接運搬する場合、約10台の収集車が町内を走るようになります。現状5台の収集車両でごみの収集を行っていますが、約2倍の収集車両が町内を走り回ることになり、交通渋滞や事故などの発生リスクも高くなります。
施設の運用における違い	貯留することができるため、災害時のごみの受け入れや年末年始などごみ量が増加する時期にも柔軟に対応できます。また、搬出も任意のタイミングで行えるため、他市町のごみが集中するような時間帯を避けることもでき、 計画的により効率よく運用を行うことが可能です。	午前中に収集を終えるために、日によって異なるごみの量に対応するためには余分にパッカー車を整備せざるを得ず、災害時も高砂に直接搬入するため、交通渋滞や事故、高砂市の広域処理施設の受入先の混雑など不測の事態への対応が困難です。
その他	シルバー人材センターの作業から出るごみの受け入れも これまで通り となるため、 シルバー人材センターにこれまでと同様、依頼が可能です。 業者がゴミ収集を行っているハイツや店舗、病院、保育園、介護施設、福祉施設、会社などについても 広域化に伴う影響はなく、これまで通りです。	シルバー人材センターが一般家庭で行う庭木の剪定・除草などから出るごみの受け入れ先も遠方となるため、 シルバー人材センターの業務が一部取りやめになる可能性があります。 業者が収集を行っているゴミなどについても収集後の運搬先が遠方になることから、 収集料金の値上げが予想され、利用者の負担は大きくなります。

費用の捻出は
どうするの？

地方債	5億2千210万円
一般廃棄物処理施設整備基金	2億3千350万円
一般財源	8万4千円

ごみ中継施設は、これから将来にわたって使用することから、建設時の住民だけがその費用を負担するのではなく、将来の住民も施設を利用することを考えて、地方債を借り入れるものです。

また、地方債の返済については、国からの交付金(償還額の30%)を充当することができず。

一般廃棄物処理施設整備基金は、平成18年度より1億円ずつ積み立ててきたものです。

新しい処理施設は、令和4年度から稼働する予定です。

▼問合せ
すこやか環境グループ
☎079(435)2721